

令和2年度旭川市エコ通勤促進事業の取組結果について

1 取組期間 令和2年5月1日（金）～令和2年9月30日（水）

2 取組状況

	所属職員・社員数	エコ通勤参加者数	エコ通勤参加者率
市内事業所	1,142人	431人	37.7%
市役所各部局	4,044人	1,745人	43.2%
合計	5,186人	2,176人	42.0%

3 実施内容

期間中は、温室効果ガス排出量削減のため、エコ通勤実施率の向上に可能な限り努めるとともに、特に6月15日から6月26日までをエコ通勤強化週間（任意の2週間も可）とし、1回以上エコ通勤を実施した者（エコ通勤参加者）の人数を集計し、報告させた。

4 促進期間中の取組事例

- ・全職員に対して、メールにてエコ通勤の趣旨を説明し参加依頼を行った。
- ・エコ通勤についての文書を回覧し、意識向上に努めた。
- ・体力錬成を兼ね、マイカー通勤している者が徒歩又は自転車通勤を実施した。
- ・強化週間で、エコ通勤可能な日を自己申告し、自己申告日誌を作成した。
- ・雨の日は交通安全の面からも、バス等交通機関を利用するよう部署内で話し合った。
- ・エコ通勤を実施した際にはすぐに記録できるよう、職員玄関に記録表を設置した。
- ・昨年度以上の成果を達成するために、過去の取組状況結果についての資料を回覧した。

5 その他意見等

- ・働き方改革活動としてのノー残業デー、環境活動としてのCO₂削減、エコ通勤はそれぞれの活動に共通する活動と認識し次年度以降も是非参加したいと思う。
- ・新型コロナの影響でバスダイヤが出勤と合わないこともあり自転車や徒歩で出勤する人が多く感じられた。しかし、車通勤からの自転車や徒歩への転換は難しく課題が残った。また、取組の啓発ポスターなどがあれば、効果的かと思う。
- ・勤務地が遠方にあることや公共交通機関が無い時間帯の出退勤があり、参加率が低下している。
- ・健康増進、体力維持及び環境保護の面から、今後も実施してほしい。

6 市内エコ通勤参加事業所

事業の趣旨に御賛同いただき、環境にやさしい取組を実践しているエコ通勤参加市内事業所は次のとおりである。

エコ通勤参加事業所名	
1	株式会社北海道銀行 神楽支店
2	北海道運輸局 旭川運輸支局
3	独立行政法人自動車技術総合機構 北海道検査部 旭川事務所
4	北海道開発局 旭川開発建設部
5	北海道電力ネットワーク株式会社 旭川支店電力部
6	東芝ホクト電子株式会社
7	旭川開発建設部 旭川道路事務所
8	北海道上川総合振興局
9	北海道電力ネットワーク株式会社 旭川支店
10	北海道電力株式会社 道北支社